



梅

Yamamoto Acc office



山本総合会計ニュース

編集 発行人
税 理 士

山本 孝久

〒152-0003
東京都目黒区碑文谷5-12-1
TS碑文谷ビル2F
TEL 03 (3791) 8863
FAX 03 (3791) 8292

◆ 2月の税務と労務

2月

(如月) FEBRUARY

11日・建国記念の日

- 国 税 / 平成28年分所得税の確定申告
2月16日～3月15日
(還付申告は申告期間前でも受け付けられます)
- 国 税 / 贈与税の申告 2月1日～3月15日
- 国 税 / 1月分源泉所得税の納付 2月10日
- 国 税 / 12月決算法人の確定申告(法人税・消費税等)
2月28日
- 国 税 / 6月決算法人の中間申告 2月28日
- 国 税 / 3月、6月、9月決算法人の消費税等の中間申告
(年3回の場合) 2月28日
- 国 税 / 決算期の定めのない人格なき社団等の法人
税の確定申告及び納付 2月28日

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28

地方税 / 固定資産税(都市計画税)の第4期分の納付
市町村の条例で定める日

ワン
ポイント

国税の口座振替の領収証書送付取り止め 国税庁では、国税を口座振替で納付した納税者への金融機関からの領収証書の送付を本年1月から取り止めています。現在は送付に代えて、e-Taxで申告している納税者はe-Taxホームページで振替納税結果が確認でき、書面による証明が必要な場合は、税務署で口座振替がされた旨の証明をしています。

JICA ボランティア

JICAとは

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、開発途上地域などの経済や社会の開発・復興や、経済の安定に寄与することによって、国際協力を進めていく組織です。

JICAの歴史は古く、1954年にコロombo・プランに加盟して日本の技術協力事業を開始したことが始まりとされています。その後、1965年には現在の青年海外協力隊にあたる「日本青年海外協力隊」が発足し、それから約10年後の1974年には国際協力事業団（こちらもJICAといいます）が設立されました。

JICAの主な業務としては、研修員の受け入れや専門家の派遣といった開発途上国への技術的な協力、円借款や海外投融資といった有償資金協力、国民などが行う協力活動の推進、調査・研究などが挙げられます。

JICA ボランティア

JICAが実施する事業の一つにJICAボランティア事業があります。この事業は、日本の政府開発援助（ODA）の一環として行われるもので、開発途上国や日系人社会からの要請に見合った技術や知識などを持ち合わせた人を募集し、訓練を経て派遣する事業です。

JICAボランティアの活動

地域は、大きく「アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東地域」と「中南米の日系人社会」の2つに分けられます。海外で活動するので多少の語学力は必要ですが、目安としては英検3級以上、TOEICのスコアでは330点以上とされています。派遣前に集中的に語学を学ぶ訓練も行っているようです。

青年海外協力隊と シニア海外ボランティア

アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東地域で活動するJICAボランティアのうち対象年齢が20～39歳の者を「青年海外協力隊」、40～69歳の者を「シニア海外ボランティア」といいます。どちらも、小学校教育・野菜栽培・エイズ対策・自動車整備などの活動を行っています。毎年春と秋の2回募集があり、原則2年間派遣されます。

日系社会青年ボランティア と日系社会シニア・ボランティア

中南米の日系人社会で活動するJICAボランティアのうち対象年齢が20～39歳の者を「日系社会青年ボランティア」、40～69歳の者を「日系社会シニア・ボランティア」といいます。こちらは、日系日本語学校の教師や経営管理、ソーシャ

ルワーカーなどの活動を行っています。こちらも春と秋の年2回募集があり、原則2年間派遣されます。

活動の支援

活動拠点には現地事務所が設置されており、ボランティアが健康で安全に活動できるように、日本人スタッフと現地スタッフが支援をしています。渡航費や現地での生活費などはJICAが負担します。また、シニア海外ボランティアや日系社会シニア・ボランティアは、家族を連れて赴任することもできるようでした。

派遣期間が終了して帰国した後も、進路相談やボランティア経験を次のキャリアに活かすセミナーといった支援制度や、大学・大学院への特別入試制度など、帰国したボランティアの方へのサポートもJICAは行っています。自治体などもJICAボランティアの経験は高く評価しており、教員や自治体職員への特別採用枠を設けているところもあります。

JICAでは、JICAボランティアの活動をより知ってもらうために、活動の様子をYouTubeで公開したり、公式facebookで配信したりと、様々な情報発信をしています。

サイバー攻撃

コンピュータやネットワークに不正に侵入して、データを詐取したり破壊や改ざんをしたりすることで、そのコンピュータやネットワークが機能できない状態に陥らせることを、サイバー攻撃といいます。サイバー攻撃には、特定の組織や個人を狙ったものと、不特定多数を攻撃するものがあります。

不正アクセスやサイバー攻撃の手段の一つであるマルウェアには様々な種類があり、サイバーセキュリティ対策について何から始めれば良いのかわからない人が多い原因にもなっています。しかし、さまざまな機器やシステムがインターネットとつながって作動している昨今では、知らない間にサイバー攻撃の被害にあっている場合もあります。2010年にはイランの核燃料施設へのサイバー攻撃があり、人命にもかかわる問題といえます。

対策の現状

サイバーセキュリティにお金をかけても、これが直接利益を生むわけではありません。そのため、対応を進めている企業は少数にとどまっています。しかし、実際に機密情報が流出した企業では、ブランドの失墜やその対応に数十億から数百億円のコストがかかっています。

また、あらゆるモノがネットにつながるIoT機器を見ると、セキュリティ対応



をするには性能に限りがあるものが多くあります。IoT機器自体は耐用年数が長く、結果的に長期間にわたって監視が行き届かない状態になっているものもあるようです。

そこで政府は、「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」と「IoTセキュリティガイドライン」を策定しました。

サイバーセキュリティ経営ガイドライン

多くの企業は業務にパソコンを使用しており、その大半は外部のネットワークにつながっています。また工場などの制御システムなどコンピュータ以外のシステムも外部につながっているものが増えています。

ガイドラインでは、サイバーセキュリティは経営問題だと明言。経営者自身がサイバーセキュリティリスクを認識し、リーダーシップをとってこれらのシステムへの対策を進めることが必要だとしています。

この対策は、自社はもち

ろん、系列企業やビジネスパートナーへも徹底する必要があります。そして、緊急時だけではなく普段からセキュリティ対策や対応についての情報を開示するなどして、関係者とのコミュニケーションを適切に図ることが重要だとしています。

IoTセキュリティガイドライン

これまでインターネットなどに接続されていなかった機器が通信機能を持つようになり、2020年には約530億個のIoT機器がネットワークサービスに活用されるとみられています。そこでガイドラインでは、IoT機器などの供給者である経営者や技術開発者を対象とした対策についての指針を示しています。さらに、IoT機器の利用者に対しても、留意すべきルールを示しています。

対策の今後

企業のサイバーセキュリティ対策に対する意識の高まりとして、アクセスログの保管が挙げられます。このアクセスログは、有事の際の証拠になります。また、サイバーセキュリティについての対応チームを持つ企業も増えつつあります。

逆にサイバー攻撃側から、AIを搭載したウイルスが出る可能性もあり、攻撃手段が進化する脅威は避けられません。企業として新たな脅威に対応していくためには、最新の情報を収集し地道な対策を続けることが重要でしょう。

ハイビーム

車のヘッドライトには、通常、ロービームとハイビームが備えられています。ロービームは前方40m先を、ハイビームは前方100m先を照らすことができます。では夜間の走行中、ヘッドライトはロービームとハイビームのどちらを使用するのが良いのでしょうか。

ロービームの正式名称は「すれ違い用前照灯」、ハイビームの正式名称は「走行用前照灯」といいます。道路交通法では、車両等は夜間に道路を走行する場合、前照灯・車幅灯・尾灯その他の灯火をつけなければならない、とされています。そして、車両等が他の車両等と行き違う場合や他の車両等の直後を走行する場合で、他の車両等の交通を妨げるおそれがあるときは、灯火を消したり、灯火の光度を減じたりするなどの操作をしなければならない、とされています。これらのことから、対向車や前走車

が存在するときはロービームを使用し、普段使用するヘッドライトはハイビームということになるようです。

ここ最近、ハイビームで走行することが推奨されています。その理由は、危険回避が容易だということと、高齢歩行者の死亡事故が増加していることが理由のようです。実際に、2013年に北海道で発生した車と歩行者や自転車との夜間死亡事故は42件で、そのうち41件はロービームで走行している車だったという報告があります。ただ街灯や建物の明かりがあり交通量も多い都市部などでは、ロービームを使用します。また霧中を走る場合、霧の粒子にライトの光が乱反射するため、ハイビームではかえって視界が遮られるので、ロービームの方が良いそうです。

なお夜間とは、日没から日の出までの時間をいいます。ただ16時～20時の死亡事故が突出して多いというデータもあります。日没30分前には点灯して、事故を未然に防ぎましょう。

ファイトケミカル

植物の色素や香りなどに含まれる化学物質に「ファイトケミカル」があります。ファイトケミカルは、抗酸化力や免疫力をアップする成分として、最近注目されています。

ファイトケミカルは約1万種あるといわれています。赤ワインやブルーベリーなどに含まれるアントシアニンや、大豆などに含まれるサポニンなど、よく耳にする物質も多くあります。

炭水化物・脂質・タンパク質・ビタミン・ミネラルの5大栄養素と違い、ファイトケミカルは摂取しなくても体に悪い影響を与えることはない一方、ファイトケミカルを摂取することで生活習慣病の予防やアンチエイジングに効果があるようです。

食物繊維と合わせて7大栄養素と呼ばれるようになったファイトケミカルの積極的な摂取が、健康増進につながるようです。

節分

節分は季節の分け目という意味があり、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指します。ただ、旧暦では立春の頃が一年の始まりなので最も重要と位置付けられており、節分といえば一般的には立春の前日とされるようになります。なお、節分の日は毎年二月三日ではありません。立春は太陽の角度が三一度になった日と定められており、

二〇二一年は立春が二月三日、節分が二月二日になります。

節分に行う豆まきは、宮中行事の追儺と寺社が邪気を祓うために行っていた豆打ちの儀式が合わさったものといわれています。豆のまき方は、家の奥から順番に行い、最後は玄関にまくそうです。

恵方巻きを食べる習慣は関西から始まり、大手コンビニチェーンによって全国に広まりました。今年の恵方は北北西です。